



## 同窓会報のタイトル

### 『回春の友』に決定

同窓会報第一号でタイトルを募集したところ、一通の手紙が事務局へ届きました。14回卒業の深井久美さんより、「同窓会会員でありながら、卒業後何の協力もできず申し訳なく思います。会報を発行するにあたり、役員の皆様のご苦勞に深く感謝します」と言う旨の内容でした。

役員で検討した結果、同窓会報のタイトルを『回春の友』と決定させて頂き手紙の一部を発表します。

日中は、まだまだ厳しい残暑が続いていますが、同窓会会員の皆様には、御健勝にてお過ごしのことと存じます。

先般、第一号の同窓会報を拝見し、嬉しく、懐かしく在校中が思い出されました。同窓会の一員でありながら、卒業後何の協力もできず申し訳ありません。

会報を発行するにあたり、役員の皆様の苦勞に深く感謝するとともに、何かお手伝いをお願いいたします。同窓会報のタイトル募集に応募することになりました。

高校時代の私は、ソフトボール部に所属し、泥まみれになりながら毎日部活動に明け暮れていました。しかし、大学、社会人と年月も流れ、高校時代の事は忘れていた、そんなとき、第一号の同窓会報が届きました。

会報を読み、写真等を見ていると、在校中の自分を思い出し、若返った気持ちになりました。そんなことから『回春』(カイシュン)とタイトルを考えてみました。若返りとか回復と言う意味があります。会報を見るたびに若き日の高校時代を思い出し、若返ると言う意味です。(略)

上記内容を役員で検討した結果『回春の友』に決定させて頂いたいただきます。

☆平成元年度・14回卒業

ソフトボール部所属 深井久美

## 「南高は今輝いている」



学校長

堀澤 秀夫

同窓会会員の皆様には、各分野でご精進ご活躍のことと思います。

本校は、創立以来二十三年目を迎え卒業生八、二二八名を数える文武両道の学校として、ますます上昇する勢いがあります。

今年度部活動は、バドミントン部・陸上部・美術部・放送部が全国大会に出場し多くの部活動も県大会に出場を果し活躍いたしました。

進路では、卒業生四九九名のうち大学一

九五名、短大七十二名、専門学校等七十名、就職十三名、浪人等一〇九名で、大学・短大現役合格率五十八・二%は県下でも有数の現役合格率であります。一浪の中には、医学部や歯学部にも合格する者も出て質的にも向上しています。

また、個性を伸す特色ある学校づくりの一環として設置された外国語科は、今年はいじめの卒業生を出しましたが現役で上智・明治・法政・青山・埼玉等の大学に合格し、初期の目的を果たしました。外国語科では二年生を中心に、毎年オーストラリアで海外研修を実施しておりますが今年も三十五名が参加し、ホームステイ等有意義な体験をしました。

今年十一月には、姉妹校であるオーストラリア・ロバートタウンソン高校生十二名を本校に迎え、交流を深めることになっております。

今、南高は目的意識をもった生徒と熱意あふれる教職員が一体となって、活気のある教育活動を実施し、その実績は地域から信頼され期待される学校となりました。これからの時代は、個性が重要視され、どんな大学を出たかではなく、何を学び、何ができるか、どんな資格があるかが問われます。本校も、基礎・基本を重視し生徒の個性や適性を伸す教育活動を進めてまいります。

会員の皆様には、ご健勝にて、ご活躍くださるようご折念いたしますとともに、本校の教育活動に一層のご理解ご協力を賜わりますようお願いいたします。



# 平成7年度部活動報告

## 〈バドミントン部〉

- ☆インターハイ(鳥根県)
- 男子シングルス 高橋朋宏君出場
- ☆関東大会(栃木県)
- 女子団体 準優勝
- (岡崎・大沢・大木・糸井・谷・大高・山崎)
- 男子団体 ベスト16
- ☆全日本ジュニア選手権大会(山梨県)
- 男子シングルス 小吹公彦君ベスト8
- ☆オリンピック強化メンバー(ナショナル選手)
- 小吹公彦君
- ・ヨーロッパ遠征
- ・ジャパンオープン出場
- ・インドネシア遠征
- ・全英選手権出場

## 〈陸上部〉

- ☆関東大会(千葉県)
- 男子ハンマー投 斉藤潤司君8位
- 県インターハイ予選
- 男子ハンマー投6位
- 女子円盤投7位
- 県新人大会
- 砲丸投 小坪智之1位
- 走高跳・三段跳・棒高跳・ハンマー投
- 100m・女子4×100m

## 〈サッカー部〉

- 関東大会県予選 ベスト16
- インターハイ県予選 ベスト8
- 全国高校サッカー県予選 ベスト16
- (ラグビー部)
- 関東大会県予選 ベスト16

## ○インターハイ県予選 出場

### 〈ソフトボール部〉

- 関東大会県予選 ベスト8
- インターハイ県予選 ベスト16

### 〈男子テニス部〉

- 関東大会県予選
- 男子ダブルス 会田・小川組3位
- 県新人大会 団体 ベスト8

### 〈女子テニス部〉

- 県新人大会 団体 ベスト16
- 〈女子バスケットボール部〉
- 県新人大会 出場

### 〈野球部〉

- 全国高等学校野球選手権大会
- 県予選 3回戦出場

### 〈女子ハンドボール部〉

- インターハイ県予選 出場
- 埼玉県選抜選手(海外遠征) 金光妙さん

### 〈男子剣道部〉

- 埼玉県剣道大会 個人戦4回戦出場

### 〈放送部〉

- NHK杯高校放送コンテスト県大会
- 朗読部門優良賞 和田麻衣子さん
- 小暮将之君
- 三年連続全国大会出場

### 〈JHC部〉

- 県青少年赤十字代表海外派遣団(オーストラリア) 松本郁彦君

### 〈美術部〉

- 全国高等学校総合文化祭
- デザイン出品 木原寿紀さん

## 今回のテーマ「部活動の思い出」

あれ程苦しかったのに、つらかったのに、今かけがえのない思い出として支えてくれる……部活の思い出。

### バドミントン部OB

石井 隆(昭63年卒)

私にとって南高校での部活動の思い出が一番に残っているのは、三年生の時に、北海道で行なわれたインターハイです。この大会は、高校三年間の部活動の総決算をする場であり、その中で悔しい思い出と、うれしい思い出が集約された大会でした。

悔しい思い出とは、団体戦の準々決勝で最終シングルの私が敗れてチームが負けてしまったことです。全国制覇を目標に、苦しい練習に耐えてきたチームメイトと遠い所まで応援に来て頂いた、当時の松本校長先生と多くの父兄と顧問の先生には大変申し訳ない事をしたという気持ちと、体調を崩した自分に対しての腹立たしさと悔しさで、涙を流した事を今でも忘れられない思い出となっています。

うれしい思い出は、個人戦のダブルスで優勝したこと。団体戦を逃しただけに、この種目は絶対に負けられないという気持ちと、年間三冠を達成するというもう一つの目標が、この種目にかかっていたのでこの優勝はとてうれしかったです。

この他にも、書き切れない程多くの思い出ができましたが、これもすべて、当時、顧問の高大先生、森田先生、渡辺先生のご指導と松本校長先生のご理解とすばらしいチームメイトにめぐり会えたことのでくれたのだと思います。本当にありがとうございます。

### バスケット部OB

谷戸 秀行(昭62年卒)

部活動の思い出とは、私にとつて高校3年間のすべてであり、部活動のために学校へ毎日来ているようなものでした。

実際に、朝のSHRなどきりぎりりかけ込んでTシャツ、短パンはもちろんだ、ボール片手にいるような毎日でした。

そのような私も、中学校時代は背も低く、体力もない人間で、名ばかりのバスケットボール部員でした。

友人に誘われ軽い気持ちで入部したのですが、バスケットボール部の先輩・同期・後輩・OBの人々と知りあったことで、体力、身長はもちろん自分が変身していったわけです。

いままで生きてきた27年の中で最も、夢中になり、熱意をもっていた時、楽しく、苦しく、自分が輝いていた時、自分に自信がもてた時でした。現在、旅行業に勤め、我が母校に営業マンとして訪れ、一生懸命仕事に打ち込んでいますが、高校時代の自分に負けないように頑張っているように思います。逆に、バスケットを通じて、培われたものにより、頑張っている現在の自分があるのだとも思います。

実力がなくベンチを温めているキャプテンで、くやしい思い出も。チームの雰囲気は乱れ、涙を流したこともありました。

その反面、プレーでも心でも支えになってくれた友人、悩みを聞いてくれ、今でもかわいがってくれる先輩方やOBの方など、人との絆を知ることができました。

もしかしら、私にとつても部活動はバスケットボールでなくても良かったのかもしれない。

しかし、この高校生活のすべてであったバスケットが、礼儀を学び、体を鍛え、人の絆を知り、青春の最高の時期を感じ、自分自身を向上でき、人生のすべてに値する部活動であったのです。そしてその思い出、私自身が作られた場所が埼玉県立越谷南高校、男子バスケットボール部で、私の一番の誇りです。

最後に、恩師、工藤寛規先生、また一緒に酒を飲みましょう。先輩方、また今年もスキーに行きましょう。同期の人達、今度は温泉で同期会だ。





## 思い出の先生

## 心の願ひ

木村 仁太郎先生

私が越谷南高校に赴任したのは昭和四十九年四月であった。プレハブ校舎が二棟しかなかった。大かぜの時は木製の下駄箱が倒れ、生徒の運動靴は地面に散乱した。理科実験室の実験台は生徒用の机四つを寄せてその上にベニヤ板を乗せたものであった。風の強い日には砂埃が舞い上り全教室の生徒達の机の上は真っ白になった。こんな環境の中でどういう教育が出来るかと思つた。それでも当時の生徒の気質は明るく素直だったことはせめてもの救いだった。この時から数えて十六年間私は越谷南高校に奉職する事になり、平成二年三月定年を迎えて退職した。退職後六年たった今、越谷南高校は随分遠くへいってしまつた様な気がする。それでもこうして原稿を書いてみると昔の事がいろいろと思い出され、元気に活動していた時の事を思い出す。

昭和五十九年頃私は進路指導部の仕事をやっていた。その頃は就職希望者も多く、夏休みも一人で就職指導の仕事をやっていた。暑い夏休みも一人で連日登校し夜の八時半から九時頃まで頑張った。八月の終りになって就職の仕事にめどがついてくると「ほッ」と胸を撫で降ろした。九月に入り就職内定者が次々に決まってくると、ああよかったと思ひ、私の心はずがすがしさを取り戻した。

進路の仕事が原因かどうかは分らないが、私は昭和六十二年三月急性肝炎で尿の色が濃褐色となり約一ヶ月入院した。それでも今考えると進路の仕事をしつかりやれてよかったと思う。少し古い言葉だが人間倒れるまで頑張れだ。その他思い出されるのは沢山の生徒や、沢山の先生方や沢山のPTAの方々との数々の思い出だ。これ等の思い出は一生私の脳裏から消え去る事はない。私は都心で生れ育つたが越谷南高校は第二の心の古里だと思つている。

ここで卒業生に私の心の願ひを少し述べたいと思う。一、何かやりだしたら途中で止めないで何か成果がでるまで続けること。勉強でも、趣味でも、仕事でもだ。そうすればきつと自分のやって来た事に満足する時がくるし、大きく考えれば社会の為になつていくのだと思ふ。二、今の世の中はせちがらくなって自分中心の人が多くなつていく。だけど他人への思いやりの心も必要ではないだろうか。自己中心的な人が増えれば増える程世の中は住みにくくなる。簡単にいえば暖かい心を何時までも忘れずに。三、最後は少しきついが人間の一生は計画通りいく場合と計画通りいかない場合がある。計画通りいなくてもそれが人生だと思つてトータルでその人の人生が光り輝く様に努力すればよいのだ。その時自分の思う様にならなくても再び充実した日々が過せるよう努力しよう。最後に越谷南高校の一層の発展と皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。皆様頑張ってください。

## 歴史の証人達に乾杯

斎藤 幸先生

越谷南高校二十数年の歩みは、教員としての私の歩みでもあり、草創期の生徒諸君の宝物でもあります。当時の経験は、今でも私の心の支えでもあり誇りでもあり何物にも替えがたいものです。

昭和四十九年度に開校した南高校は、当時、新設校を毎年五、六校開校しなければならぬ時代であり、校舎はプレハブ、もちろん体育館などあるはずもなく、校歌もなし、校舎の周りのフェンスもなし、グラウンドは、田んぼに土を入れただけの荒れはてた状態、用具もなしの無い無いづくしの状態でした。今でこそ何不自由なくすばらしい環境のもとで勉強、スポーツにと日々の生活をおくれていると思ひますが、草創期の先輩達の努力を語らずして現在を語ることはできないと思ひます。

私の教員としてのスタートは、生徒達が、田んぼの中に整列し教師が畦道に並んでの着任式からスタートしました。校庭には、常に水がたまり体育館のない体育の授業は、雨が降れば、生徒は、下着を二枚持参し泥まみれの授業、晴れた日には、レイキを片手にグラウンド整備の授業、生徒達はグチも言わずにほんとうに良くついてきてくれました。体育祭や球技大会の時などは、体育委員の生徒達と学校に泊まりこみ、バケツに雑布をもつての水ぬき、グラウンド整備が恒例でした。一般の生徒達もバケツ片手に素足になつて協力してくれました。

女子生徒は、朝食をつくつてもつて来てくれるなどほんとうに教師と生徒が一体となり学校の歴史をつくつてきた感があります。今思ひおこしても青春ドラマの一コマを見ている様な思ひがします。五年目の秋に足を踏み入れた時の生徒達のあの光り輝いた瞳は、忘れることができないほど印象的でした。

三年目にしてようやく公開にまでこぎつけた文化祭、まさに手作りの素材で一人一人の力の結集のすばらしさを印象づけた作品でした。

バス旅行の帰り道、バスガイドの「皆さんの学校の校歌を歌って下さい」の一言に、しばらくの沈黙が続き、ある生徒が中学校時代の校歌に南校の名前をつけての熱唱、万雷の拍手が湧き目頭が熱くなることもありました。そんな事がひとつのきっかけとなり校歌の完成が急がれました。

当時、何も無いで生徒達は、自分達で力で南校をつくつていく気概に燃え、私に感動を与え、教員としての生きがいを感じてくれました。私も当時の生徒諸君も人生で二度とあじわえない素晴らしい宝物を南校で発見できたのではないのでしょうか。卒業式に涙が流れた君たちは、三年間を精一杯生きた証です。





母 校 点 描



部活でつかれきった夏の夕暮れ。  
世の中で一番おいしい飲み物だった水…。18歳  
の原点は、いつまでも私たちの心の中に。



**平成7年度同窓会より  
贈呈品**

1. 進路実績掲示用ボード  
・管理棟1Fの廊下進路室前
2. ダスキンマットリース  
・管理棟・ホームルーム棟全般
3. 卒業証書入れ
4. 部活動激励費及び垂幕

| 同 窓 会 役 員 紹 介  |  |
|--|--|
| <b>会 長</b><br>① 田中 祐成 ② 昭和54年度卒 ③ バドミントン部<br><b>副会長</b><br>① 小池 広彦 ② 昭和54年度卒 ③ バスケ部<br>① 山崎 勉 ② 昭和58年度卒 ③ 陸上部<br>① 荒川 泰弘 ② 昭和63年度卒 ③ 野球部<br><b>理 事</b><br>① 板垣 秀之 ② 昭和55年度卒 ③ バドミントン部<br>① 松沢 規之 ② 昭和56年度卒 ③ バスケ部<br>① 橋本 龍虎 ② 昭和56年度卒 ③ バスケ部<br>① 林 実 ② 昭和57年度卒 ③<br>① 人谷 浩正 ② 昭和58年度卒 ③ 陸上 | ① 松井美由紀 ② 昭和60年度卒 ③ 陸上<br>① 今井 見和 ② 昭和60年度卒 ③ 陸上<br><b>幹 事</b><br>① 平山 浩己 ② 昭和61年度卒 ③ 野球<br>① 深井 久美 ② 平成元年度卒 ③ ソフトボール<br><b>監 事</b><br>① 風間 秀治 ② 昭和57年度卒 ③ バレーボール<br>① 目黒 健一 ② 昭和61年度卒 ③ 陸上<br><b>顧 問</b><br>① 萩原 浩一 ② 昭和53年度卒 ③ バドミントン部 |

**『平成8年度総会  
9月15日に変更』**

3月の会報でお知らせした総会の日時  
及び場所が左記の通り変更となります。

**■ 9月15日(日)**

開会 午前十一時  
会場 母校会議室

・先着100名に記念品を贈呈いたします。  
・当日は南高祭も行っています。